

美しい音を求めて… ノン・レガートからレガートへ



ロシアからは多くの大ピアニストたちが生まれていますが、
彼らはどのようなピアノ教育を受けて育ったのでしょうか？

ロシアの子どもたちが使用しているピアノ教本を使って“美しい音”を響かせましょう！

◆講座内容◆

1) ロシア奏法について

- ・大きな特徴である「レガート」「ピアニッシモ」の美しさを追求し、音楽がつながって歌になるように演奏することを目指します
- ・もうひとつの重要な要素である「ペダリング」にも繋がる基礎づくりを、子どものころから学びます

2) 『はじめの一步』について

- ・ノン・レガートからはじめ、しっかりとした手のかたちを作りあげ、その上でレガートを小さいころから徹底して体得しフレーズを感じて音楽を奏でられるように練習します
- ・「手首をあげて」ではなく「手の甲をあげて」と表現し、これまでとは違う意識づけによりフレーズを引き出します

・「〈アクティヴ〉に指を動かすとは？」

美しいレガートにつながる大切な要素を説明します

3) レッスンでの指導

各巻の中で、重要なポイントを
数曲取り上げ、指導のコツを紹介します



ふるはた ゆ み こ
古畑由美子



5歳より、ピアノを始める。桐朋女子高等学校音楽科ピアノ科を経て、桐朋学園大学ピアノ科を卒業。同大学弦楽器部会伴奏研究員を経て、ザルツブルグ・モーツアルテウム音楽大学留学。在学中、マスタークラスにてレフ・ナウモフ、ドミトリー・パシキロフ両氏に毎年、師事。帰国後は東京、横浜、新潟、札幌でリサイタル、オーケストラの鍵盤楽器、室内楽や、FM出演、音楽アカデミーなどの公式伴奏者も務めている。後進の育成にも力をいれており、ロシアの子供のピアノ教材を使用した指導講座、及びグループレッスンを各地で行っている。洗練された技術と透感あふれるピアニッシモは高く評価される。イタリア ファウスト・トレフランカ国際ピアノコンクール入賞、第3回国際ピアノデュオコンクール2台4手部門第2位（日本人最高位）。これまでにピアノを梶野三重子、故中島和彦、川島伸達、村手静子、クリストフ・リースケ、レフ・ナウモフ、ドミトリー・パシキロフ、ドミトリー・アレクセーエフ各氏に、室内楽を故数住岸子、紅林こずえ、練木繁夫、H. ビュイグ＝ロジェ各氏に、クラヴィコードをミケーレ・ベヌツィ氏に師事。日本ピアノ教育連盟会員。

■ 受講者の方も交代で演奏し、先生にロシア奏法をご指導いただけます ■

●日時

2025年 3月4日(火)

10:30~12:30

●会場

有隣堂 戸塚ミュージックショップ内
ミュージックサロンホール

●受講料(税込)

会員 2,000円 一般 2,500円

●教材 <当日会場でも販売いたします>

「ロシア奏法によるピアノ教本 はじめの一步①」

※お持ちの方は②③も当日お持ちください

参考:「はじめの一步 曲集、響きでつむぐピアノ①、②」(以上、音楽之友社)

●お申し込み、お問い合わせ先

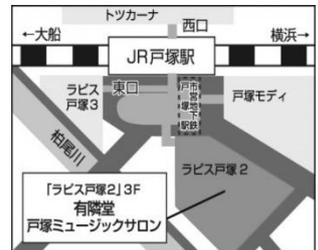
有隣堂 戸塚ミュージックショップ

〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町 8

ラビス戸塚 2-3階

TEL: 045-861-5225

FAX: 045-869-3490



キリトリ線

有隣堂 戸塚ミュージックショップ

(FAX.045-869-3490)行 申込日 月 日

古畑由美子公開講座

2025年3月4日(火)

『はじめの一步』実践セミナー

申込書

お名前			
ご住所	〒		
TEL		FAX	
E-Mail			
種別	会員(有隣堂講師・PTC・JET会員・有隣堂ミュージックカード会員) ・ 一般		

※〇印をおつけください。ご記入いただいたお客様の個人情報は、この講座の控えとしてのみ使用させていただきます。